

各 位

会 社 名 株式会社フォーバル  
代表者名 代表取締役社長 中島 將典  
(JASDAQ・コード番号8275)  
問合せ先 取締役管理本部長 加藤 康二  
電 話 03-3498-1541

## 財務報告に係る内部統制の重要な欠陥に関するお知らせ

当社は平成 22 年 6 月 25 日に提出いたしました第 30 期（自平成 21 年 4 月 1 日 至平成 22 年 3 月 31 日）内部統制報告書の記載事項に誤りがありましたので、金融商品取引法第 24 条の 4 の 5 第 1 項に基づき、内部統制報告書の訂正報告書を提出いたしますが、同訂正報告書において内部統制に重要な欠陥がある旨を記載することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

### 1. 重要な欠陥の内容

平成 23 年 3 月期第 1 四半期の決算作業中であつた平成 22 年 7 月 12 日、金融機関の残高通知書中に経理部が認識していない銀行口座を発見したことをきっかけとして、総務部長（当時）の職にあつた元社員（以下「元社員」）による以下の不正行為が判明いたしました。

- 1) 元社員は平成 15 年 10 月より平成 22 年 1 月までの間、たびたび損害保険料の領収書を偽造し、不正な経費精算を受けていた。
- 2) 元社員は平成 21 年 3 月期に、他社名による契約書、覚書等を偽造して架空の不動産仲介取引を装い、その手数料売上を計上させ、さらにその売掛金の回収を装うため、平成 21 年 4 月より平成 22 年 4 月までの間に 5 回に分けて自ら当社口座へ入金した。
- 3) 元社員は平成 22 年 4 月に、職務上知りえた当社貸借事務所の敷金の一部返還に際し当社名義の銀行口座を不正に開設し、当該口座に入金されるよう貸貸人に不正に書類を提出し、返還された資金の大半を引き出し、飲食を主とした遊興費に充てた。

社内調査及び外部調査委員会による検討の結果、第 30 期の財務諸表を訂正し、同時に連結財務諸表等有価証券報告書の記載事項の一部を合わせて訂正するべく、提出済の同期の有価証券報告書及び同期中各四半期の四半期報告書について訂正報告書を提出することといたしました。

過年度の決算の訂正が行われたことに関して、当社の全社的な内部統制において 1) 内部牽制が不足していたこと、2) コンプライアンス意識が十分徹底していなかったこと、3) 人事ローテーションが不足していたこと等により不備があり、重要な欠陥があつたものと認識しております。

## 2. 重要な欠陥の是正について

当社では財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を認識しております。不正発覚の時点では内部牽制、コンプライアンス意識の徹底、人事ローテーションなどそれぞれの不足が原因と判断しておりますが、8月末までに報告される予定の社内調査及び外部調査委員会の最終報告を受けて、内部統制上の原因究明、再発防止策等の検討等経営に対する提言を踏まえて内部管理体制の強化を図る所存です。

なお、現時点では今回の不正行為は元社員の単独行為であると判断しており、元社員は平成22年7月30日付けで懲戒解雇とし、今後刑事・民事を含めた関係当局への届出を準備しております。

以 上